

※展覧会の名称は変更する場合があります。



Meiji Kogeい: Amazing Japanese Art

平成28年11月12日(土)－12月25日(日)

細見美術館

《自在龍》宗義

誰もが驚く超絶技巧から、目利きも思わずうなる精粹の逸品まで。職人の技が光ります。

驚きの明治工藝展

Meiji Kogeい: Amazing Japanese Art

会期: 平成28年11月12日(土) - 12月25日(日)

巡回情報

東京藝術大学大学美術館(東京・上野公園) 2016年9月7日(水)~10月30日(日)
細見美術館(京都) 2016年11月12日(土)~12月25日(日)
川越市立美術館(埼玉) 2017年4月22日(土)~6月11日(日)※予定

開催趣旨

宋培安コレクションは、台湾在住の漢方薬剤師である宋氏が蒐集した日本工芸の一大コレクションです。その数は3000点にも及び、明治工藝の基となった江戸時代末期の技巧を凝らした作品から、明治代時代を中心に昭和初期頃までの漆工、金工、陶磁、七宝、染織と全てのジャンルを網羅しています。

本展ではコレクションの中から現在、日本国内では見る機会の少ない天鷲絨(ビロード)友禅や、全長3メートルもある世界最大の龍の「自在置物」など、細密・写実的で驚きいっぱいの作品約130件を紹介します。一人の台湾人が心奪われた明治工藝の美を、この機会にぜひ、お楽しみください。



展示構成

写実の追求 まるで本物のように

江戸時代までの日本では、理想の姿を具現化する傾向がありましたが、明治時代になると工芸の世界では、動物や植物の姿を写実的にとらえ、それを再現するようになります。その代表的な例が自在置物です。これは、「鉄や銅などで動物や虫を写実的に作り、しかもそれらが本来的に持っている胴や手足などを動かせる機能までをも再現した置物」で、江戸時代に甲冑を作る職人によって最初は作られました。明治時代には、京都や大阪の職人などが、輸出を主な目的として制作するようになります。

また、写生画のように植物を表現する工芸作品もいろいろ出てきました。様々な分野で写実の追求が行われ、「まるで本物のように」写し取る技巧へと進んでいきます。

技巧を凝らす どこまでやるの、ここまでやるか

江戸時代、工芸のそれぞれの分野で新たな技法が開発されました。明治時代にはそうした技法から生まれた表現に、より高い精度が加わり、細密な作品の誕生へとつながっていきます。

さらに明治時代の工芸品は、欧米への輸出が目標であり、内外の博覧会への出品によって、その優秀な技術を示すことが重要視され、より芸術性が求められていきました。そして、華麗・繊細な感覚の作品が多く生み出され、人の手によって表現しうる限りの技巧を凝らした世界が展開されていったのです。



《塩鮭》加納鉄哉



《三猿根付》小林盛良

Meiji Kogeい Amazing Japanese Art



1 キーワードは「京都」

京都会場では、京都の作家・職人によってつくられた作品、さらには京都をテーマにした作品に、特に注目していきます。

2 展示替えならぬ、「ポーズ替え」があります。

会期中、《自在蛇》宗義をはじめ、一部の作品で「ポーズ替え」を行います。自由自在に形を変えることができる「自在置物」の可能性をぜひ、お楽しみください。

3 写真撮影、OKです！

本展では、当館初の試みとして、展示室内の作品の写真撮影が可能です！（一部、撮影不可のものもあります）

4 小学生、中学生のみなさん！！

こちらも当館、初の試みです！今回は中学生も無料でご覧いただけます。まるで本物のような作品を、じっくり観察しに、ぜひ、ご家族でお出かけください。

展覧会図録

「驚きの明治工藝」展 定価：2,200円(税込)

【2016年9月発行、260ページ。A5変型判、カラー】



主 催：細見美術館

朝日新聞社

協 力：あいおいニッセイ同和損保
日本航空

企画協力：東京藝術大学

出品作品数：約130件

入館料：一般 1300円(1200円)

大学生・高校生 800円(700円)

中学生・小学生 無料

※()内は20名様以上の団体料金

休館日：毎週月曜日

開館時間：午前10時～午後6時
(入館は、午後5時30分まで)

お問合せ先：担当学芸員 伊藤京子
gakugei@emuseum.or.jp
広報担当 三宅由紀
kouhou@emuseum.or.jp



《葉上蛙》宮本理三郎



主な出品作品



《自在龍》宗義



《犬図薬缶》海野珉乘



《自在鯱》無銘



《蒔繪螺鈿芝山硯屏》易信



《色絵金彩鴛鴦置物》宮川香山



《自在カマキリ》好山



《花鳥文花瓶》安藤重兵衛



《嚴島神社鳥居図壁掛》無銘



《狸置物》大島如雲

